

はじめに

本書「暗黒のシステムインテグレーション」は、「月刊ウィンドウズNTワールド」誌（およびその後継誌、IDGジャパン発行）に掲載された同名の連載をまとめたものである。同連載は1999年9月号から2009年12月号の休刊まで続いたが、本書は主に「ITバブル」と称された時期に書かれた記事が中心となっている。

犬も歩けば人間の3倍速で年を取るIT業界。10年ほど前の話を再度世に問うことには、正直迷った部分もある。だって、ドン引きレベルで言えば、「昔はコアメモリってのがあってね」と、若者に説教をたれるウザイおやじとドッコイドッコイのいい勝負でしょ？

しかし、技術が進化し、人がうつろいでも、集団が演じるヒューマンファクターが招く笑える惨事には同じ通奏低音が鳴り響いている。コードで言えば、ITバブルのころがEメジャー、そのバブルがはじけてEマイナー、なんだかスレっからしてる最近はEセブンス、ラララーってか。

一方、コードは変わらずとも、音楽は、その時代時代ですばらしい体験を世の人々に提供し続けている。それと同じように、ITも形を変えながら、これからもきつとすばらしい体験を提供し続けていくことだろう。そのためには、テクノロジが道を誤らないように、1か0かの論理の世界に忍び寄る「暗黒の闇」を捕捉する眼力が必要だ。そんな意図もあって、今を知

るための過去の旅へのガイドブックとして、本書を刊行する次第である。

本書には、今となつてはつたなく、こっぴどかしい内容も少なくない。だが、世界歴史遺産（ウソ）として、当時の筆者の青くささともども往時をご堪能いただくのが主旨だと考え、本文の修正は最小限に抑えた。また、「追記」という形で、現在の暗黒の状況がどうなっているのかを新たに書き下ろしたところもある（これって10年保証か？でも、エコポイントは付きません）。

そんな本書が、ニッポン・エン지니어族のあこがれにして技術本界の名門、技術評論社から出版されるのも、ブログやWeb、ツイッターでつぶやき続けていただいた読者の皆様のおかげである。心より感謝申し上げます。

それでは、昔からのおなじみさんも、初めてお会いしたフレッシュさんも、理不尽な事実をどうぞお楽しみください。ただし、挫折は禁止。

森 正久

目次

暗黒のプロジェクト

暗黒の「引越し」	8
暗黒の「超常現象」	18
暗黒の「官公庁・大企業」	33
暗黒の「ジェネレーションギャップ」	52
暗黒の「転職事情」	61
暗黒の「情報システム部」	72
暗黒の「工場」	83
暗黒の「中間管理職」	101
暗黒の「年俸制」	112
暗黒の「銀行」	123

暗黒のビジネス

暗黒の「バーター取引」	132
暗黒の「要件定義」	143
暗黒の「西暦2000年問題対策」	154
暗黒の「ITコンサルタント」	163
暗黒の「下請けいじめ」	172
暗黒の「その後の西暦2000年問題」	182
暗黒の「弊社の事例集」	193
暗黒の「プログラマー」	202
暗黒の「オフィス環境」	213
暗黒の「業界常識」	222
暗黒の「プロジェクトマネージャー」	233

暗黒の「プリセールス活動」	242
暗黒の「契約」	253
暗黒の「外資系」	263

暗黒のトレンド

暗黒の「アベイラビリティ保証サービス」	284
暗黒の「コールセンター」	295
暗黒の「認定技術者試験」	306
暗黒の「運用アウトソース」	315
暗黒の「フィールドエンジニア」	326
暗黒の「交渉術」	336
暗黒の「家電化」	346
暗黒の「KISS」	365